

ばれっと

2011
1月
No.137

P2~4 **すぽっとらいと 拡大版**

特集 『市民活動アワード2010』

～あなたの一票が社会を変える力になる～



市民活動アワード最終選考会では、地域や社会を変えた9つのエピソードについて、各団体が発表を行いました。発表後、会場に集まった市民の皆さんによる投票と、審査員による審査を経て、「オーディエンス賞」など8つの賞が、各エピソードに贈られました。

<目次>

- P5... **サポちゃんで行く骨工口施設見学！ 仙台市ボランティアセンターの巻**
... **サポ本を読もう！『面倒くさがりで続かない人のための「やり抜く！」技術』**
P6... **サポセンカレンダー**

すぽっとらいと **拡大版**

◆仙台市内で活動している団体にスポットをあて、紹介する「すぽっとらいと」。今回は、市民活動アワード拡大版です。

市民活動アワード2010

日時：2010年11月27日(土) 14:00~17:00
場所：市民活動シアター

私たちの住む街は、様々な市民活動により、日々変化していますが、その変化を感じる機会は、あまり多くありません。

そこで、市民活動サポートセンターでは、市民活動により、地域や社会に起こった変化を紹介する「市民活動アワード」を創設しました。

記念すべき第1回目となる「市民活動アワード2010」には、公募により、12団体から18のエピソードが寄せられ、10月9日~25日の間にサポートセンター館内とホームページ上で行った一次選考で、市民の皆さんから519票もの投票がありました。



▲市民活動アワード2010一次選考・館内投票会場
(サポートセンター5階展示スペース)

一次選考を通過した9つのエピソードは、11月27日(土)の最終選考会へと進み、各団体がエピソードに関するステージ発表を行いました。この最終選考会には、57名の来場者がありました。



最終選考会の会場は、サポートセンターの地下にある、「市民活動シアター」。ミラーボールが輝き、赤じゅうたんが敷かれた、いつものサポセンとはちょっと異なる雰囲気の中、1団体8分の持ち時間で行われたステージ発表では、口頭発表の他、ビデオレターやダンス、二人で掛け合いをしながら発表を進めていくなど、各団体の様々な工夫を凝らしたプレゼンテーションが繰り広げられました。



▲ステージ発表の様子

市民活動アワード最終選考会の審査員には、先日サポセンで職場体験を行った中学生や、NPOへのインターンシップを経験した大学生、マスコミ関係者、サポセンの事務用ブース入居団体など、年代も立場も異なる多彩な顔ぶれがそろい、発表を終えた各団体に鋭い質問や温かい言葉を投げかけていました。

全ての発表を終えたところで、会場に会場した皆さんによる投票と、審査員による審査が行われ、「オーディエンス賞」をはじめとする各賞が決定しました。(各賞の詳細は3ページで紹介しています)

市民による投票を取り入れて市民活動を紹介する「市民活動アワード」は全国的にも珍しい取り組みということで、最終選考会が終わってからも新聞で紹介されるなど、注目を集めています。

市民活動アワードに寄せられた18のエピソードをまとめた「市民活動アワード2010エピソード集」も、大変好評で、初回発行の500部がまもなく無くなってしまいう勢いです。

参加団体からは、「ホームページ上に載ったエピソードが評判で、問い合わせが相次いでいる」との声をいただきました。

初めての試みということもあり、試行錯誤だったところもたくさんありましたが、皆さんのご意見を基に、よりよい「市民活動アワード」を作り上げていければと思います。(担当：太田 貴)

●市民活動アワード2010各賞と
受賞エピソード

オーディエンス賞

最終選考会に会場した市民による最終投票で、得票数1位のエピソードに贈られる賞

●全国初の犯罪加害者家族支援/World Open Heart

せんだいCARES賞

話題性がある、または、多くの人たちに知ってもらいたいと思わせるエピソードに贈られる賞

●多様性を受け入れるムードに。/Anego

パートナーシップ賞

市民、団体、行政、企業などと手を取り合っているエピソードに贈られる賞

●海外インターンシップを通じた企業とNPOの協働実践!!/アイセック仙台委員会

ベストステージ賞

最終審査のステージ発表において、わかりやすい発表・訴える力のあった発表に対して贈られる賞

●スラムの子供たちに教育を!
/(特活)アマニ・ヤ・アフリカ

ビッグバン賞

地域や社会、制度などに「大きな」変化をもたらしたエピソードに贈られる賞

●父子家庭への児童扶養手当を実現
/全国父子家庭支援団体連絡会・宮城県父子の会
●心のバリアフリーを全国へ。
/とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI

ニュースター賞

これからの活躍・発展が期待できるエピソードに贈られる賞

●心に寄り添う傾聴ボランティア/仙台傾聴の会
●母娘を明るくしたコーチング
/(特活)日本スクールコーチ協会東北支部

グラスルーツ賞

市民活動の基本である草の根の活動(地道な活動)に取り組んだエピソードに贈られる賞

●井上ひさし館長と仙台文の會/仙台文の會

イノベーター賞

先駆的な取り組み、独自性の高い取り組みを行ったエピソードに贈られる賞

●全国初の犯罪加害者家族支援/World Open Heart

※受賞エピソードの詳細は、サポートセンターのホームページからご覧いただけます。

また、1月14日までサポートセンター5階の展示スペースでも紹介しています。

<団体情報>

●World Open Heart

TEL: 090-5831-0810

E-mail: world.open.heart@gmail.com

●Anego

E-mail: anegosendai@yahoo.co.jp

●アイセック仙台委員会

E-mail: sendai@aiesec.jp

●(特活)アマニ・ヤ・アフリカ

TEL: 022-247-4225

E-mail: mamaishi@guitar.ocn.ne.jp

●宮城県父子の会

TEL: 080-3197-0692

E-mail: hibipa0907@yahoo.co.jp

●とっておきの音楽祭実行員会SENDAI

TEL: 022-265-0980

E-mail: info@totteokino-ongakusai.jp

●仙台傾聴の会

TEL: 022-343-9705

E-mail: moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp

●(特活)日本スクールコーチ協会東北支部

TEL: 090-6645-2823

E-mail: touhoku@jscoach.com

●仙台文の會

<ミニ情報>

■市民活動アワード2010エピソード集

市民活動アワード2010へ寄せられた12団体18のエピソードを一冊の「エピソード集」にまとめ、サポートセンター館内で配布しています。様々な市民活動を知ることのできる一冊となっておりますので、ぜひ、手にとりてご覧ください。



地域や社会を変えたエピソードを発表した9団体 市民活動アワード2010受賞団体紹介

「市民活動アワード2010」において市民投票による一次選考を通過し、最終選考会で各賞を受賞した9つのエピソードの発表団体を紹介します。



◀ 最終選考会の様子

●World Open Heart

家族が事件を起こしたことによって、自ら罪を犯したわけではないにもかかわらず、職場を解雇されたり学校を転校せざるを得ない状況に追い込まれる「犯罪加害者家族」の相談を受け、必要な情報や当事者が集まる場所の提供、裁判所への付き添いなどを行っている団体。

(ばれっと2010年8月号の「すぽっとらいと」で紹介しています)

●Anego

あらゆるセクシャリティ(性的指向)の人が尊重されることを目指して、仙台を中心に活動している団体。セクシャリティや性別、国籍、年齢などは一切問わずに誰でも参加できます。

(ばれっと2009年7月号の「すぽっとらいと」で紹介しています)

●アイセック仙台委員会

海外インターンシップの運営をする学生団体。特に受け入れ事業部では、海外の学生が仙台の企業で一定期間インターンシップをする際のサポートを行っています。具体的には海外の学生と企業のマッチングから、研修内容の提案とアドバイス、ビザの取得代行等を行っています。

●(特活)アマニ・ヤ・アフリカ

活動12年目を迎える、仙台の地からアフリカの支援を行っている団体。ケニアで、ストリートチルドレンの為に学校支援やフェアトレード事業を行っています。今年6月にはケニア現地に国際NGOを立ち上げました。

(ばれっと2007年7月号の「すぽっとらいと」で紹介しています)

●宮城県父子の会

「母子家庭の子供達も、父子家庭の子供達も平等に支援をうけられるよう求める意見書」を国政に提出するよう求める請願書を仙台市政と宮城県政および県内の34市町村へ提出。その後、平成21年11月に他の地域で活動されていた父子家庭の方と共に全国父子家庭支援団体連絡会を設立し、地方自治体と国政に対し政策提言を行っています。



▲来場者に投票を呼び掛ける各団体の皆さん
(市民活動アワード2010最終選考会にて)

●とっておきの音楽祭実行員会SENDAI

障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指す、音楽祭を毎年6月第一日曜日に開催している団体。会場となる商店街などのバリアフリーマップ作成や、音楽祭出演者を派遣し、施設・お祭り・お店などで演奏する「とっておきの音楽祭キャラバン」なども行っています。

●仙台傾聴の会

「あなたの心に寄り添う」傾聴ボランティア活動をしている団体。一人暮らしの方への訪問傾聴、高齢者福祉施設での傾聴、誰でも参加できるお話サロン「傾聴の広場」、自殺予防を視野に入れた傾聴の啓発・普及などを行っています。

●(特活)日本スクールコーチ協会 東北支部

「青少年には生まれながらにより良く生きる力があり、無限の可能性を持っていることを心から信じます」という信念に基づき、コーチングによる青少年の自立支援を行っている団体。教職員や保護者向けにもコーチングを実践できるスクールコーチを育成し、教育現場のニーズに沿った実践的なコーチの紹介も行っています。

●仙台文の會

井上ひさし氏の文章講座参加メンバーが平成6年に立ち上げた団体。井上ひさし氏に関わる文化・文学活動への参加や、毎月発行の通信、年1回発行の文集を通して、「書く事」の喜びを伝えています。

サポちゃんで行く 

『仙台市ボランティアセンター』の巻

仙台に情報の背骨を通すプロジェクト（通称：骨プロ）とは？

市民による情報の受発信を支援し、市民活動に関する情報を多くの市民に届けるため、サポセンを含め仙台市内の11の公共施設が協力して行うプロジェクトです。このコーナーでは、各施設で「骨プロ」がどのように活用されているのかをご紹介します。

仙台市ボランティアセンター（以下、ボラセン）は、青葉区の仙台市福祉プラザの4階にあります。ボランティアを「やりたい人」と「必要としている人」をつなぐ拠点施設として、仙台市内のボランティア情報を中心に情報の収集・発信をしています。今回はスタッフの小塚真奈美さんにお話を伺いました。

●市民活動を知るきっかけ

施設の中に入ると、壁に沿ってボランティアに関する情報がきれいに並んでいます。その中央にテーブルとイスがあり、ゆっくりと情報を閲覧したり、気軽に相談ができるように配慮されていました。

骨プロラックは利用者の目に留まりやすい、入口のすぐ右手に置かれています。利用者は骨プロを通じて、多様な分野の情報を手にすることができ、市民活動のを知るきっかけにもなっているそうです。

●相談にも役立つ「骨プロ」

ボラセンには経験豊富なボランティアアドバイザーが常駐し、ボランティアに関する相談に応じてくれる体制が整っています。「ボランティア相談の際にも、市民活動団体の情報を提供するとき骨プロを活用しています」とのことでした。

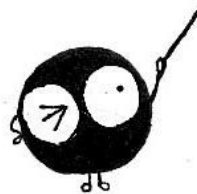
仙台市
ボランティアセンター
仙台市青葉区五橋2丁目12-2
仙台市福祉プラザ4階
TEL:022-262-7294
FAX:022-216-0140

●ボランティアの育成

ボラセンは、「夏のボランティア体験会」や「ボランティア出前講座」など様々な講座を開催し、ボランティアの育成に取り組んでいます。中でも、小塚さんイチオシの講座は、「災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座」です。災害ボランティアセンターとは、大規模災害が発生した際に、被災地の一日も早い復興を図るため、ボランティア活動希望者と被災者の要望をつなぐところです。ボラセンではこの運営スタッフを育成するため、定期的に講座を開催しています。

近い将来、高確率で起こるといわれている宮城県沖地震。あなたも「災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座」に参加してみたいはいかがでしょうか。

（担当：吉田 祐也）



▲入口の右手に設置されている骨プロラック

今月のサポ本 『面倒くさがりで続かない人のための「やり抜く！」技術』

心が折れそうなき、不安なとき、先が見えないとき・・・私たちはどのようにして心のバランスを保っていけばよいのでしょうか。本書にはその答えを見つけるための意識の持ち方や行動のヒントが、著者の経験をもとに書いてあります。具体的には、「あえて困難な道を選ぶ」「生涯の師を見つける」ことで仕事や人間関係、そして人生を「やり抜く」ことができると伝えています。

さらに著者は、ブログやツイッターを活用しての情報発信が自己実現につながる一つの方法であると述べています。その活用方法についても非常に分かりやすく実践的に書かれています。

ものごとを根気強く継続して「やり抜き」成し遂げるといふ点で、将来に迷いを感じている人だけではなく、市民活動に関わる人にとっても参考になる一冊です。（担当：西川 日和）



著者：久米 信行
発行：日本実業出版社
定価：1,260円（税込）

■この本は「L ハウツー」にあります。

1月～サポセンカレンダー ●○○● <申込み> TEL 022-212-3010

日時	イベント内容	会場	料金
1月19日(水) 14:30～16:00	●NPOいろは塾 NPOの基礎について、90分でわかりやすく学びます。 塾長：仙台市市民活動サポートセンタースタッフ	研修室5 (4F)	500円 (事前申込必要)
2月9日(水) 13:30～16:30	●協働セミナー 行政とNPO・市民活動団体の協働について共に学ぶセミナーです。 講師：川北 秀人氏 IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表	セミナー ホール (6F)	無料 (事前申込必要)

仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ <申込み・問合せ> TEL 022-217-3983 仙台市シニア活動支援センター (サポセン3階)

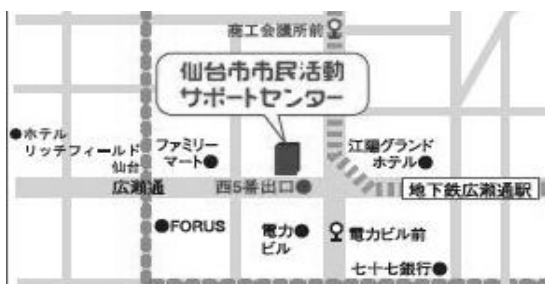
日時	イベント内容	会場	料金
1月8日(土) 10:00～17:00	◆専門相談(先着5人(組)ノ一組50分程度) 動物の愛護活動や動物介在活動に興味・関心のある方、参加してみませんか? 相談員：特定非営利活動法人エーキューブ 理事 千葉 浩二さん	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
2月4日(金) 18:00～20:00	◆シニア活動支援センター大新年会 シニア活動支援センター成果事例の報告と、参加者同士の交流会です。	市民活動 シアター (地下)	1,000円 (事前申込必要)
2月12日(土) 10:00～17:00	◆専門相談(先着5人(組)ノ一組50分程度) あなたのキャリア(経験)を活かして、子供たちの将来と一緒に考える活動に参加してみませんか? 相談員：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 理事 田中 聡子さん	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)



■ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

■ 案内図



○当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車で来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注)路上駐車・駐輪は、周辺の迷惑となりますのでおやめください。

○ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄のバス停]電力ビル前、商工会議所前
[地下鉄]広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

■ 開館時間 ○平日 午前9時～午後10時

■ 休館日のお知らせ(施設点検等のため)
1/26(水)

■ 年末年始休館のお知らせ
12/29(水)～1/3(月)

■ 編集後記 ◆「市民活動アワード」の翌日、「市民活動カラフルフェスタ」が開催されました。フェスタのゲスト・久米さんの著書を「サポ本」でご紹介しましたので、ぜひご覧ください。(菅野)
◆今年初開催となった「市民活動アワード」。各方面からの反響が大きく、市民の皆さんからの投票も500票以上ありました。エピソード集も品切れ間近ですので、入手はお早めに。(太田)

発行：仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日：2010年12月27日
編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人：菅野祥子 太田貴

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。[指定管理期間：2010年4月1日～2015年3月31日]